

# 指定管理導入施設実績評価シート（平成30年度）

		施設所管課	福祉子ども部 福祉政策課																				
施設名	大津市ふれあいプラザ																						
指定管理者	社会福祉法人大津市社会福祉事業団																						
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日																						
指定管理料	年額24, 519, 000円(平成30年度)		(総額122, 652, 000円)																				
設置目的	市民の福祉の増進及び市民の交流の促進を図るため、大津市ふれあいプラザを設置する。																						
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大津市ふれあいプラザ条例第3条第3号に規定する事業の実施に関する業務</li> <li>・大津市ふれあいプラザ条例別表に掲げるホール等の施設の使用の許可に関する業務</li> <li>・大津市ふれあいプラザの施設及び設備の維持管理に関する業務</li> </ul>																						
主な成果 <small>(自主事業含む)</small>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">使用料収入</td> <td style="width: 10%;">目標</td> <td style="width: 10%;">5,242,000 円</td> <td style="width: 10%;">⇒</td> <td style="width: 10%;">実績</td> <td style="width: 10%;">4,586,720 円</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>目標</td> <td>55.0 %</td> <td>⇒</td> <td>実績</td> <td>56.6 %</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>目標</td> <td>3,500 件</td> <td>⇒</td> <td>実績</td> <td>3,600 件</td> </tr> </table> <p><b>【主な自主事業実施による成果】</b> 歌と音楽を使っての健康トレーニングの講座を実施した。多くの方に参加いただき、ほとんどの方が満足の評価をいただいた。昨年度来られた方に電話でご案内することで、広報おおつで見落とされた方も喜んでいただけた。 積極的にご案内することが出かけるきっかけとなった方もいらっしゃったことから、いろいろな形でのご案内の必要を感じた。</p>					使用料収入	目標	5,242,000 円	⇒	実績	4,586,720 円	稼働率	目標	55.0 %	⇒	実績	56.6 %	利用件数	目標	3,500 件	⇒	実績	3,600 件
使用料収入	目標	5,242,000 円	⇒	実績	4,586,720 円																		
稼働率	目標	55.0 %	⇒	実績	56.6 %																		
利用件数	目標	3,500 件	⇒	実績	3,600 件																		
総合評価	IVによる総合評価	総合評価コメント																					
	B (良好)	平成30年度は、年間の収支がマイナスとなっている。主な理由としては、施設利用料の減益及び駐車料金の負担増加が挙げられる。 前者の事由については、自主事業も活用した利用者・稼働率の向上を図られたい。後者の事由については、駐車料金のあり方について、関係部局と協議のうえ、適切な運営となるよう検討していく必要がある。																					
評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課確認事項																	
I 実施体制	施設の設置目的の達成	事業計画書、事業報告書	B (良好)	事業計画に基づき運営している	B (良好)	事業計画に基づき運営している																	
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件	事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査	B (良好)	事業計画に基づき運営し、出勤状況等も適正である	B (良好)	事業計画に基づき運営している																	
	職員の研修	事業計画書、事業報告書、研修資料等	B (良好)	職員研修を実施した	B (良好)	随時実施している																	
	法令等遵守	仕様書、関係書類等、実地調査	B (良好)	法令・条例等を遵守している	B (良好)	法令等遵守している																	
	個人情報保護・情報公開	協定書、管理办法(実地調査)	B (良好)	適正に管理を行っている	B (良好)	適正に管理している																	
	管理記録	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B (良好)	適切に整備・保管している	B (良好)	適正に管理している																	
	連絡体制	事業計画書、事業報告書等関係書類	B (良好)	常に市とも連絡、調整を行い、報告書等についても速やかに提出している	B (良好)	適切である																	
	緊急時対応	事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B (良好)	事業計画に基づき実施している 定期的な訓練等にも積極的に参加している	B (良好)	マニュアルが整備されている																	
	（I 総括） 業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設 项目】			B (良好)	B (良好)																		

# 指定管理導入施設実績評価シート（平成30年度）

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課確認事項			
Ⅱ 内容・水準	施設管理	事業計画書、日報	B(良好)	開館日・時間について、遵守している	B(良好)	適切である			
	利用状況	事業計画書、事業報告書	B(良好)	適正な水準であった	B(良好)	稼働率は減少しているものの、利用者数は増加している。			
	利用者対応	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B(良好)	適切に実施した	B(良好)	適切である			
	事業運営	事業計画書、事業報告書、自主事業計画書、実地調査	B(良好)	事業計画書に基づき、概ね実施した	B(良好)	適切である			
	維持管理	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B(良好)	適切に実施した 庭については指定管理の範囲ではないが、美観を保つために定期的に草引きを行っている 備品等は清掃や軽微な修理を日々行っている	B(良好)	適切である			
	情報提供	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B(良好)	ホームページにより空き室状況を日々更新している	B(良好)	適切である			
	環境配慮	関係書類、実地調査	A(優良)	利用される方にも協力いただけるよう掲示するなどし、節電・ゴミの分別を積極的に行っている。	B(良好)	適切である			
	意見・要望・苦情	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B(良好)	ご意見箱の設置やホームページからのご意見を受け付けている 要望に対しても適切に対応している	B(良好)	適切に対応している			
	利用者アンケート	事業計画書、アンケート、実地調査	B(良好)	多くの方から満足・概ね満足の声をいただいた。 机の位置にマークをし、元に戻しやすいようにした。	B(良好)	アンケートが実施され、内容分析も実施されている			
	《II総括》 業務の内容・水準に関する評価【標準9項目／当施設項目】	B(良好)		B(良好)					
Ⅲ 収支等	経理事務	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査（金庫等）	B(良好)	適正に管理をおこなっている	B(良好)	適切である			
	収支状況	事業計画書、事業報告書	C(課題含)	厳しい収入の中、経費の削減に努めたが、収支はマイナスとなった。	B(良好)	収支改善に努めているが、主に施設利用料減及び駐車料金負担増のため、収支はマイナスとなっている。			
	経費削減の取組	仕様書、事業計画書、委託契約書、実地調査	B(良好)	積極的に実施している	B(良好)	適切である			
	《III総括》 経費の収支等に関する評価【標準3項目／当施設項目】	B(良好)		B(良好)					
Ⅳ その他	その他	実地調査							
	□ 努力事項として掲げた〇〇〇〇の取り組みを推進したか								
《IV総括》 その他に関する評価【当施設項目】		B(良好)		B(良好)					
特記事項等 （課題・成果）	【指定管理者】	全般的に稼働率が下がっているが、和室の稼働率は上がっている。安価であることが稼働率の増加につながっている。しかし、一方で畳の部屋でも椅子を望む意見もあり、2019年度からは和室で机とイスでも対応できるように準備した。利用者のニーズに応じて対応していく。 平成29年度より市内・市外の利用料金が設定されたが、従来は市外の方が申請されていた団体であっても、市内の方で申請されることがあり、予想以上に市外料金の収入が少ない結果となつた。申請者についての取り決めたを、継続して市と協議していく必要があると考える。							
	【施設所管課】	稼働率の増加が課題であるが、貸室によって状況が異なること、自主事業が好評であることから、現状の期別の利用状況を考慮した自主事業の実施時期の見直しをはじめ、稼働率の増加に向けた工夫を図られたい。また、利用者ニーズへの対応については、上記のとおり適切になされており、今後も利用者ニーズに沿った対応を期待する。							

※評価基準：項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準(A～D)は、モニタリングチェックシートと同様とする。

